一般質問

TOPIC 1 障がい者就労支援 自立支援協議会運営強化へ

障がい者の就労支援を始め、障がい者の生活全般について国は自立支援協議会を各自治体に設置することを求め、田川市も昨年度から設置されました。

しかし田川市は昨年度１回しか同協議会を開催せず事実上放置しており、障がい者の生活支援に極めて後ろ向きな状況を追求しました。特に同協議会の運営を機能的に行うため部会制を設けることや開催回数の増などを訴え、市長も「部会を作って充実する」と答えています。

また、民間企業への働きかけや、自治体が公共物品や役務を積極的に障がい者団体に委託するよう定めた障害者優先発注推進法（本年4月施行）の速やかな計画実施を訴えました。執行部は民間企業の働きかけを今後も行うとともに、障がい者優先発注推進法の趣旨にあわせ調達計画を早急に作成したいと答弁がありました。

TOPIC 2 子育て支援 多様な保育の充実強化を

子ども・子育て新システムを2015年度から本格開始されるのにあわせ田川市も新システムの具体的運用について話し合う「子ども・子育て会議」の創設が必要となります。この早期設置と幅広い構成を要望し、執行部も子育て中の方の参画など幅広い構成を考えていることが示されました。

また休日保育や「地域子育て支援拠点事業ひろば型」の設置など保育の多様化などについても質問。執行部は今年度行うニーズ調査で実態把握し検討するとともに、ひろば型施設については中央保育所の有効活用とリンクして、子育て世代が集える場所作りをつくっていくことが述べられました。

特にひろば型は、室内遊技場としての役割も大きく、子育て世代が多く集い仲間になることで、虐待防止やコミュニティ形成にも大きく寄与すると言われています。市も設置を計画で明記している施設でもあり、ぜひ中央保育所跡地で設置してもらいたいと思っています。

市立中央保育所と子育て支援センター。子育て支援施設への活用が期待される。

補正予算

補正予算：経済対策が前面に 当初予算 子育て・教育に手厚い予算に

3月補正予算は、政権交代による国の経済対策関連の予算が総額で19億6471万円計上されるなど、3月補正予算としては異例の大幅増額補正予算となりました。その多くは公共事業で、道路整備や公営住宅の改修、小中一貫校の建設費用などにあてられます。

当初予算も昨年度に比べ14億5619万円多い275億1579万円と、5万人規模の市としては極めて大きな予算編成となりました。

しかし予算の49.7％、136億7056万円が社会保障関連費となっており、昨年より8億7729万円と歳出科目別では最も多い増額となっています。特に生活保護費は53億7215万円と全予算の19.5％を占めています。

また、病児保育所建設、小中学校全学校での35人以下学級開始、市立幼稚園・市立保育園・子育て支援センターの合築施設の建設、小学校の給食食器変更など、子育て・教育に手厚い予算編成であることが特徴です。今後はハードだけではなく、ソフト面も充実する必要を感じています。ぜひ皆様のご意見をお寄せください。

主な予算

項　目	金　額
子ども医療費助成事業費 今年10月より、通院は小学校3年生まで無料（これまでは小学校就学前まで）、入院は中学生まで無料となります。ただし本年10月より小学6年生まで通院を無料化する案も検討されています。	1億6042万円
病児・病後児保育施設建設事業費 来年1月に病児保育所を設置するために、施設建設費を計上。定員は4名で開所日は月～金の8時から18時まで。利用料は2000円で田川市立病院横に建設する予定です。私もこれまで一般質問で設置強く要望してきました。無料券の発行や土曜の開所なども訴えています。	2131万4千円
小学校・中学校少人数学級指導事業費 今年度から田川市内の小中学校全校で35人以下の少人数学級が始まります。今年度は12名の教員を田川市が雇用し対応します。これは議会による予算修正によって実現した事業です。	5919万8千円
猪位金小中一貫校建設費及び施設改修費 3月補正予算及び2013年度当初予算で計上されました。猪位金中学校に小学校部分を増設する形で建設することになっており、2014年4月に開校します。	4億8516万円
市営住宅の長寿命化関連予算（増額分） 3月補正予算で、国の経済対策予算を活用し、公営住宅約5000戸の改修を行うための予算を増額しました。	10億1492万2千円
老朽化公営住宅建替整備事業費 2014年度より建替工事を行う上伊田市営住宅（20戸）および2014年～15年度に建替工事を行う大浦市営住宅60戸の測量設計費用等にあてられます。	3825万円
世界記憶遺産関連予算 主なものは石炭記念公園グラウンドのアスファルトカラー舗装等に1億4627万円など。また石炭歴史博物館の館内ガイド端末購入費等に647万円、山本作兵衛氏の著作権料等に1248万円があります	2億1015万円

無料法律相談 実施中

月に１回（おおむね月の下旬）、弁護士による無料法律相談を実施しています。
お気軽にご相談ください。
（連絡先：0947-42-2199）

佐々木まこと後援会事務所
〒826-0044
福岡県田川市大字位登876 mail makt56@hotmail.com

社会新報 号外 社会民主党全国連合機関紙宣伝局　週刊（水曜日発行）
〒100-8909 東京都千代田区永田町1-8-1　電話 代表03(3580)1171・振替00140-1-9203
●定価180円　●1ヶ月700円　●送料160円

社会新報号外
MAKOTOTUSIN

まこと通信

田川市議会議員

Vol.25

個人商店が醸し出す 多様性を大切にしたい。

田川を変える熱い田川人との対談

×

今回の人

今村 秀治（ひではる）さん

1953年生まれ。59歳。
大学卒業後、家業である今村茶舗に従事。
現在4代目店主。
後藤寺商店街振興組合副理事長。

◀今村茶舗は、最近では珍しくなったお茶を計り売りしている。主に八女茶を取り扱っており、今村さんご本人がお茶の種類に合わせ茶葉をすべて手作業でブレンドする。

撮影場所

「今村茶舗」

1895年（明治28年）創業。当時はお茶が極めて貴重だったことからも当時の田川の活気を感じる。またネットショップやお茶講座を開くなど常に新しいことにチャレンジも。

佐々木（以下：佐）
今村さんが感じる後藤寺商店街の魅力ってどんなところですか？

今村（以下：今）
お客さんとの繋がりが深いところですね。それぞれが専門店のため、長年専門家として品物を熟知した人が売り場にいて、いろんな知識を得ながら買い物ができるのは、商店街ならではだと思います。大型商店とは違った安心感や温かさも商店街のよさです。

佐：品物に熟知した人がいる、という安心感をいかに発信していくかが今後商店街を見る上で重要な気がしてきました。商店街としてこうなりたいという理想像はありますか？

今：まずはそれぞれのお店が専門店としての自覚をもち、佐々木さんが言うように品質と商品知識を売りにしないといけないと思います。また商店街全体として、もっと買い物が楽しめる街にしたいです。コミュニティスペースを持ったり、トイレやイスをお客さんに使っていただけるようにしたり、大型店での買い物に慣れないようなお年寄りにも安心して買い物していただけるような準備が必要だと感じています。

佐：「買い物を楽しめる街」ということは、それぞれの個店が楽しい存在じゃないといけませんよね。個店として、こんなことがしたいということはありますか？

今：今村茶舗としては、お茶を通した日本の文化を発信したいと思っています。お茶を構えて習いに行かなくても、もっと気軽に日常生活の延長としてお茶に触れられる、そんな窓口に今村茶舗がなれたら、と。
また東京の風習がそのまま全国に流れたりする現代だからこそ、ただ美味しいお茶を売るだけでなくて「この土地ならでは」の風習や知識をお客さんに届けたいとも思っています。

佐：なによりも、明治28年創業という歴史はどの企業も追いつくことのできない価値ですよね。これだけの歴史のあるお店が田川にはもっとたくさんあって、そんなお店をもっと市民にも知ってもらえたらと思っています。

今：ほんとですね。佐々木さんとお話ししていて、これからは「118年の歴史と今村茶舗を買っていただく」という考え方も取り入れていくことが大事だと気づきました。

佐：お連れあいさんが、日本茶インストラクターの資格を取得されたそうですが？

今：そうなんです。今では妻の方が有名人で。100年以上の歴史ある店の4代目でも、資格には勝てないってことです（笑）

佐：夫婦のいいコラボレーションも今村茶舗の魅力のひとつですね。これからも今村茶舗から目が離せません！

後援会長のひとりごと

佐々木 まこと後援会長 **伊藤 龍文**

皆さんが毎日食べているご飯は、何という米だろうか。日本穀物検定協会は今年2月、平成24年産米の食味ランキングを発表した。全国128産地品種の食味試験を行い、最も評価の高い「特A」に29点が選ばれ、その中に福岡県産米の「元気つくし」が入った。私も作っているので大変うれしかった。

佐賀県の「さがびより」や大分県の「ヒノヒカリ」も「特A」だったが、最高評価だったのは熊本県の「森のくまさん」だった。近頃熊本は「くまもん」や「デコポン」そして「森のくまさん」とネーミングもユニークであり大活躍である。

米も含め農産物の多くの新品種は各県の農業試験場で作られるが、それらは一定期間いわゆる「著作権」があり、他県では作ることができない。イチゴの「あまおう」も福岡県限定品種である。期間が過ぎるとどこでも作れるのだが、それは商品価値のあるものだけであろう。

そう考えると「コシヒカリ」はすごい。何十年もの間、米の王者に君臨しており、各県で作られる新品種のほとんどが「コシヒカリ」をもとにしている。

ところで、米は純国産の主食である。パンや麺類もよいと思うが、一食あたり30円程度と安く、エネルギーの源でもある米をぜひたくさん食べてもらいたいと思う。

特集記事

TOPIC 1 組合立中学校は必要ない！

田川市郡8市町村で一部事務組合を設立し公立中学校をつくるという案が、1月の新聞で急きょ報道されました。我々議員にとっても寝耳に水で、一部首長の強い意向によって設立をされたようです。

この点について3月議会で多くの議員は反対を表明。市長も一般質問の答弁で「建設ありきというのは私の中には毛頭ない。撤退もありえる。」や「一方的に準備会がつくられた」などと述べるなど、この学校設立に消極的な発言を繰り返しています。

組合立中学校設立の理由として、優秀な中学生が他地域に流出することで学力低下を招いていることをあげています。しかし優秀な生徒の「囲い込み」が学力向上につながるという明確な理由は見当たりません。

また学校建設費には、ばく大な税金を投入しなければなりません。田川市の中学生の学力は厳しい状況にあり、教育に関する予算配分も、教員配置もまだまだ足りません。必要のない組合立中学校に税金を投入するのではなく、現在ある中学校の教育環境整備や教員配置の充実などに予算を投入し、学力向上を図ることこそ田川市のとるべき行動だと考えます。

市内中学校の様子

TOPIC 2 生活保護業務に警察官OB 福祉行政に必要なのか？

2013年度当初予算には、生活保護行政の「適正化」として警察官OBを職員として雇用する議案が提出されました。市は理由として「不適切な言動をする受給者等の家庭訪問の際、同行する」と説明していますが、同行為が不適切かどうかは市側の判断になることから、相談者が萎縮してしまう危険性があります。また警察官ＯＢは社会福祉に関する専門知識を有しておらず、専門性を欠いた不適切な対応によって、精神的に困難を抱える要保護者及び被保護者に対して回復不可能な損害を与えることが懸念されます。

このように警察官ＯＢの採用は、田川市の福祉行政の基本的な姿勢が問われる問題だと思います。

また田川市の生活保護費の実に51.9％、27億8716万7千円は医療扶助費ですが、この予算は看護師を雇用して健康相談などを行ってもらう人件費にも活用できます。また生活保護行政を行うケースワーカーの配置も十分でありません。

日本弁護士連合会も昨年11月16日「警察官ＯＢの福祉事務所配置要請の撤回を求める意見書」を提出しているなど、関係団体からも、反対の声が上がっています。

この警察官ＯＢを雇用する予算の減額を求める予算修正案を提出しましたが、賛成７反対１２の賛成少数で否決となりました。

TOPIC 3 退職手当減額問題 議員提案で修正可決

現在国が進めている公務員の退職手当削減問題。いわゆる「かけこみ退職」なども発生していますが、この原因は年度内に退職手当を急に削減することにありました。

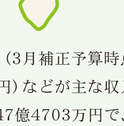
田川市もこの年度内の退職手当を削減する議案が提出されました。田川市の案では3月22日以降に退職手当を最大140万円減額するものとなっており、わずか10日弱の在籍で大幅な減額となります。

このような問題から、田川市を除く福岡県の全市町村が来年度からの退職手当減額としており、全国の市区町村（政令指定都市を除く）1722自治体のうち、年度内に退職手当を減額する自治体は84自治体(3.4％)に過ぎません。

財政再建の必要性は感じています。退職手当の削減もやむなしと思うのです。しかし数十年勤務していた方に対して最後の10日を前にして退職手当を召し上げるような仕打ちは、もはや労使関係を超えた不当な扱いといわざるを得ません。

この点について総務文教委員会で私は年度内実施を変更する修正案を提出、賛成15名、反対4名で修正案が可決成立しました。

Data Tagawa データで見る田川市



第1回：市の税収入

田川市は、国から交付される地方交付税交付金（3月補正予算時点で74億9343万円）や国庫支出金（同70億8633万円）などが主な収入です。また市が市民などへ直接徴収する市税は、47億4703万円で、主なものは別表のとおりです。

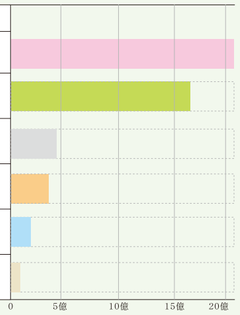
市税において最も大きいのは固定資産税、その後は個人市民税と続きます。特徴的なのは法人市民税より市たばこ税の収入が多いこと。市民税とは5倍近くの差があります。

田川市の市税は市民の皆様から直接頂く税金が多く占めていることがこのデータからもわかります。現役世代層の増加は、田川市にとって税収増にも直結します。私自身は企業誘致と同時に「人の誘致」を積極的におし進める必要があると考えています。

そのためには子育てや教育を中心に、現役世代の声も集めた政策展開が急務です。ぜひその声も届けていきたいと思っています。

主な市税（2013年3月現在）

税の種類	金　額
固定資産税	21億7350万円
個人市民税	16億4080万円
市たばこ税	4億5720万円
法人市民税	3億3920万円
軽自動車税	1億640万円
鉱産税	444万円



活動報告

2/6

第3回議会報告会を市民会館で開催。私は議会改革の現状と今後について参加者の皆様に説明しました。

2/12

兵庫県明石市議会が田川市議会を視察に訪れました。議会運営委員長として議会改革の現状と課題を話しました。

3/3

街頭演説で議会活動をお伝えする活動も続けています。この日はトライアル前で政策や議会報告を行いました。

3/10

長崎県池島炭鉱見学ツアーを私の議員インターン生と一緒に参加しました。写真は使用した坑道内に入るときのもの。炭鉱関連施設の見学ができ、当時の様子がとてもよく分かりました。

3/31

大学生の政治参加を若手政治家として支援！

私は初当選以来6年間にわたり、のべ28名の大学生を議員インターン生として受け入れてきました。今回は福岡県立大学の門田千穂さん(写真右)、北九州市立大学の光根将年君(写真左)が参加しました。

若者の政治参加は、政治の雰囲気と息吹を感じてもらうことが一番の近道です。次の世代を担う学生と政治がもっと身近になるために、私も若手議員としてこれからもがんばります！

田川の未来は、変えられる。

佐々木 允（ささき まこと）

Profile
福岡県田川市生まれ
生年月日：1981年5月6日　血液型：O型

学歴
田川市立猪位金中学校卒業
福岡県立東鷹高等学校卒業
龍谷大学法学部政治学科卒業
北九州市立大学大学院法学研究科修了(法学修士)

現職
田川市議会　議会運営委員長
田川市議会　広報委員長
田川市議会　総務文教委員
田川地区清掃施設組合議会議員
社会福祉法人猪位金福祉会暖家の丘職員

blog,Twitter,facebook
佐々木 まこと で検索

January 1月（16日から）

17	食にん市
18	北九州市議選応援行動
19	北九州市議選応援行動
21	田川地区清掃施設組合田川市川崎町運営協議会
23	佐々木まこと後援会会議
24	市議会広報委員会
25	市内中学校視察
26	茨木市議選応援（大阪府）
28	まこと通信発送業務
30	市議会総務文教委員会

February 2月

1	市議会会派会議
4	後援会会議
5	市議視察対応
6	議会報告会
7	議員インターン懇親会（福岡市）
8	議会報告会
9	日本フィルハーモニー交響楽団
11	平和憲法をいかす会総会
	雨矢紀一前市議叙勲祝賀会
12	兵庫県明石市議会視察対応
13	議会申し入れ
14	市議会総務文教委員会
15	日本公衆電話会福岡支部災害伝言
	ダイヤル講習会（猪位金小）
	田川地区清掃施設組合田川市川崎町運営協議会
16	知人結婚式
18	日本公衆電話会福岡支部防災手帳贈呈式
19	市議会議会運営委員会
	佐々木まこと後援会会議
21	議員インターン懇親会
22	田川地区清掃施設組合議会
23	TPP政策セミナー（福岡市）
24	第１６回猪位金校区福祉のつどい
26	市議会本会議
27	市議会総務文教委員会
28	一般質問打ち合わせ

March 3月

3	ごとうじひなめぐり2013
4	一般質問準備（終日）
5	一般質問準備（終日）
6	田川市電子計算組織管理運営審議会
7	市議会本会議（一般質問）
8	市議会本会議（一般質問）
9	議員インターン研修旅行（長崎県）
10	議員インターン研修旅行（長崎県）
11	市議会総務文教委員会
12	市内小学校視察
14	猪位金中学校卒業式
	市議会総務文教委員会
15	猪位金小学校卒業式
19	福岡市臨海清掃工場視察（福岡市）
21	佐々木まこと後援会会議
22	市議会本会議
	市議会総務文教委員会職員送別会
24	白鳥保育園卒園式
	村上和雄筑波大学名誉教授講演会
27	議員インターン交流会
28	市内中学校視察
31	上位登区総会
	ドットジェイピー福岡支部最終報告会（福岡市）

April 4月（15日まで）

2	田川地区清掃施設組合臨時議会
4	保育・子育て研修会（東京都）
7	「日曜の食にん市」
9	佐々木まこと後援会会議
10	猪位金小学校入学式
	福岡県労働政治懇談会総会（福岡市）
11	猪位金中学校入学式
12	ごみ焼却場視察/市内小学校視察
15	市議会会派会議